

令和4年度の変更点&確認事項

◎変更事項

1. 支部対抗における1500m、3000mの出場制限を設ける。
(地域別大会と同タイム)
2. 本年度も現地招集とするが、リレー競技においては競技者係において招集(ユニフォームチェック)を行う。
3. 共通男子棒高跳の都大会標準記録を変更する。
総体：2m50(公認) 通信：2m70(公認)
4. 東京都中学校駅伝競走大会の申込先を変更する。(P19参照)
5. 本年度も駅伝は、感染症防止対策のため参加制限を設ける。
出場校数男女80チーム
前年度上位18チーム+島嶼2チーム+60チーム
(1500m公認記録上位チーム：男子3名女子2名)
6. 地域別大会に共通男女円盤投をオープン種目として追加する。
(P2「大会実施種目表」参照)
7. アスリートビブスの色を女子も黒色に変更する。

◎確認事項

1. 都大会出場資格
 - ・ 総合体育大会における低学年リレーは、東西合わせて8チーム+8位相当(地域変更校)とする。
区部、多摩合わせて16チーム+8位相当の地域変更校の2~3組が出場できる。
2. 標準記録種目での東西地区の8位同等での資格は与えない
例：1年女子走幅跳(総体標準記録4m10)の場合

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位
東部	○4m60	○4m52	○4m48	○4m32	○4m28	○4m13	○4m08	○4m03	×4m01
西部	○4m58	○4m49	○4m38	○4m26	○4m24	○4m21	○4m19	○4m11	×4m09

 - ・ 東部7位・8位は標準記録を突破していないが、8位入賞により出場資格あり
 - ・ 西部9位は東部7位・8位よりも記録がよいが、標準記録を突破せず入賞もしていないので出場資格なし
 - ・ 地域変更者は、当該地区の8位入賞記録をマークすれば出場資格を与える
3. 大会参加資格について
 - ・ ハードル種目やフィールド種目においては、参加選手の記録の制限は設けませんが、学校内で十分な練習ができない場合は、エントリーを控えること。